

鹿ノ台川柳教室

五月十五日(月)

お題「未来」(連記)

杉本ミノル選

一年後読めぬが未来開けそう  
 未来なし今日一日を遊ぶだけ  
 八十二年未来を信じ食べた飯  
 みどり児へ未来の国を託す夢  
 この子らに未来を託す心意気  
 未来なし子供踏み台テロ国家  
 未来からメールが届く五月病  
 未来凶に描き切れない核の傘  
 あと三年生きているだろ五輪まで  
 十年日記買いました米寿さん  
 人生は未来が過去の繰り返し  
 産声の君の未来は無量大  
 国ぐるみ未来にまわす請求書  
 秀ゆめとルビふった未来があつた日々  
 短めの未来一寸だけ語り

よし尚  
 宏樹  
 義雄  
 よう子  
 えいじ  
 登美  
 正清  
 勝利  
 乃り子  
 千楽  
 英二  
 哲子  
 広子  
 アキラ  
 ミノル

野々村アキラ選  
 よし尚  
 えいじ

自由吟(共選)

野々村アキラ選

報連相おひたし食べて気がついた  
 引き出しにしまった筈がなにもない

見積りをセコムに頼む警察署  
 民縛りポチの鎖を弛ませる  
 故郷は心も知らず花薫る  
 軽やかにカーテンレール主婦を脱ぐ

ミサイルに感謝支持率下支え  
 止むを得ず澄んだ瞳に吐いた嘘  
 切り株に夢ふくらます初夏の風  
 移り気な季節の波に足がつる  
 身の丈に合った暮しに物足らず  
 秀姑と母に二色の花を買う  
 車椅子押すこの今がいと嬉しい

自由吟(共選)

八木哲子選

切り株に夢ふくらます初夏の風  
 引き出しにしまった筈がなにもない  
 人工の水晶体借り新世界  
 止むを得ず澄んだ瞳に吐いた嘘  
 見積りをセコムに頼む警察署  
 理由もなく涙あふれるみ仏に  
 車椅子押すこの今がいと嬉しい  
 新緑に負けぬ緑で装う日  
 自慢気に喋りの中の薄っぺら  
 勲章は自分史刻むこの笑顔

よう子  
 えいじ  
 乃り子  
 義雄  
 英二  
 登美  
 アキラ  
 広子  
 正清  
 アキラ

身の丈に合った暮しに物足らず  
澄み切った空に矢車昼寝時  
民縛りポチの鎖を弛ませる  
秀 姑と母に二色の花を買う  
● 移り気な季節の波に足がつる

お題 「そっくり」(互選)

- ② 大金が見事に消える警察署  
わが親子取得ないとこそそっくりだ  
③ しがらみを捨てて身軽になる余生  
天災にそっくり暮らし奪われる  
父何処に血はあらそえぬ兄の咳  
④ 似なくてもよいところまで瓜二つ  
その言葉そっくり君に返したい  
そっくりと言われてムツとなる話題  
悪知恵をそっくり継いで覇者となる  
⑤ そっくりと心遣いの嘘を言い  
偽物でブランド好きの隙狙う  
⑥ 赤ん坊顔も見ないでそっくりね  
ラッシュアワー窓に疲れた父の顔  
⑦ そっくりに少しおまけの付く似顔  
秀 ⑫ そっくりに腹が立ちます子と亭主

勝 利  
正 清  
義 雄  
広 子  
哲 子

千 楽  
よし尚  
勝 利  
よう子  
登 美  
アキラ  
義 雄  
えいじ  
勝 利  
ミノル  
哲 子  
英 二  
英 二  
義 雄  
広 子

\* 快挙と言ったら失礼か。秀句を広子さん、独占。  
スタートから六年になろうという我がクラスで初めて。  
自由吟(共選)と、互選でみごとトップ。  
連記でも準トップだった。

その互選トップは「子と亭主そっくりで腹が立つ」。  
これには複雑な感想(男性陣から)も。

このほか、「ゆめとルビふった未来があった、未来  
(連記トップ) || アキラ作 || が印象に残った。(千楽) \*

次回、六月十九日午後一時から、西集会所。

お題、「鳥」、「飛ぶ」、それに「自由吟」。各二句。

「鳥」は連記で一枚の短冊に二句とも書く。

「飛ぶ」は選者二人の共選、二部提出のこと。

ホームページを御覧の皆様へ

脳トレに仲間作りに川柳を・・・句会見学、ご入会、大歓迎  
お問い合わせは左記に なんなりと。

問合せ

五十嵐修(79・0751)、原広子(79・0061)